

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年11月19日(土) 17:00～18:55

会場

釜小学校 体育館

参加者数

約420名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
堤防の高さが TP7.2mだと今回のような規模の津波は守れないのでは。	TP7.2mは、比較的頻度の高い津波（明治・三陸沖地震やチリ地震クラスの津波）に対する防御策である。今回のような津波に対しては、高盛土道路と二重の形で守る減災の考えで、原則は逃げていただく。
川が見えないと景観も悪く、津波が来ているかわからないので、堤防は低くて良い。	景観を重視した堤防を造っていく。
釜・大街道地区の住居系は、高盛土道路だけで守られるのか。	津波シミュレーションによると守られる。
高盛土道路はどこを通るか決定しているか。TP5mとは、今の道路から何m程度、高くなるのか。	決定はしていない。詳細な図面は、今後、地区毎に示していき、地権者との説明会を踏まえて決定する。 地盤沈下等があり、今の道路から6m程度高くなる場所もある。
高盛土道路に登れる階段等は整備する予定があるのか。	高盛土道路に登れる階段等は交通上支障のない場所に造っていきたい。
高盛土道路などの予算は。	高盛土道路については、国の予算がつく可能性が高い道路である。今後も要望していく。
高盛土道路、海岸防潮堤、河川堤防の事業主体は。	高盛土道路は国と県、海岸防潮堤は県、河川堤防は国。
釜・大街道地区の避難路の根拠は。	都市計画道路として矢本一流留線の計画は決まっていた。市ではこれまで整備できていなかった道路である。
日本製紙の後ろの道路より北側は可住地か。	道路の北側は住むことができる。
門脇町は住めない場所になるのか。	八間道路の北側は可住区域となる。
被災前と同じ地域に住みたい人には、住めるように考えるべきではないか。	地権者説明会で内容の変更も相談に応じたい。

質問・意見	回答
居住系の場所は、土地区画整理事業とあるが、道路計画はどうなるのか。	地権者説明会を開き、土地区画整理事業等の実施について説明を行う。道路整備によって買収が必要となれば土地の買収を行う。意見を聞いて決めていきたい。
早く可住区域と非可住区域の正確な位置を決めてほしい。決まらないと代替地がほしくても対応できない。	現段階では、正確な位置が出せない。なお、非可住区域の方々は防災集団移転促進事業により、新市街地へ移転していただく考えである。
住居系（可住区域）でも移転したい人は、新市街地に移転できないのか。	新市街地への移転は非可住地域、工業エリアとなる方々を対象に考えており、可住区域の方の移転等は考えていない。
産業エリアはどのように考えているのでしょうか。	現在、工場がある方はそのまま使っていただいて問題ない。新たに住居を構えることはできない。
定川を含め運河のほうから水が来るのが心配だが、対応策は。	定川についても堤防を造る。運河についても完全復旧する。
地盤沈下が著しいので、内水排除について、異常気象、災害にも強いまちづくりを目指してほしい。	新たなポンプ場も設置する必要があると考えている。
防災無線は、聞き取りにくいほか、話し方からも緊急性が感じられない。連絡方法を考え直してほしい。	話し方を含め対応する。設備は新しい設備を導入し、病院やスーパーなど、多くの方が集まる場所にも無線が届くよう、戸別受信機の設置も考えていきたい。
停電で信号機が止まり、渋滞が発生したために逃げ遅れた方が多くいる。停電しても信号機が作動するような対策を施してほしい。	バッテリーによる対応などについて、県警と検討していく。
シンボル公園整備より優先すべき事業があるのではないかと予算のかからない事業を考えてほしい。	津波の恐ろしさを後世に残したいと思う。予算については、範囲内で慎重に決めていきたい。
女川原発については廃止していただきたい。	慎重に対応していく。

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
災害公営住宅の完成が平成26年度、仮設住宅の入居期限は原則2年。仮設住宅を出て、災害公営住宅が完成するまでの間どうすれば良いのか。	原則2年だが、国では1年毎の延長更新もできるよう検討している。状況に合わせて国へ要望していく。
応急仮設住宅の民間借上げも延長が可能なのか。	国から情報は来っていない。仮設住宅同様に県、国へ延長を要望していきたい。

未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
子ども等の災害弱者への対応は。震災後、学校に対して災害発生時の対応などについて指導監督はしているのか。	まずは、自分の命は自分で守れるように教育現場で教えていく。なお、学校については災害対応マニュアルの総点検をかけている。

その他

質問・意見	回答
意見交換会で出された意見によって計画の変更は可能なのか。	意見交換会等を全て終えた後に再度検討する。計画の変更も視野に入れている。
市長は、国へ陳情に行っているのか。	石巻の要望回数は、宮城県及び宮城県内の被災市町の中でも一番多い。